

世と教界を見る目を養う(1)

=バビロンの霊=

- ①人類の神からの独立と反逆(創世記10:8-9):ニムロデ(ニムロド:「私たちは反逆しよう」の意味)→最初の権力者;狩人(=自ら生計を立てる者)
- ②ニムロドの王国:シヌアルの地(同10:10)→バベルの塔(同11:4)
- ③アカンの罪(ヨシュア7:21):分捕り物(産地シヌアル)を見て欲しくなる(cf.創世記3:6)→誘惑の本質(1ヨハネ2:16)
- ④ネブカドネザルによる神殿の破壊(ダニエル1:2):神殿の略奪物はシヌアルの地に納められる→神殿(=私たち)が世に囚われ、世の宮に納められること(現代のキリスト教の状況)
- ⑤偶像礼拝の光景(ゼカリヤ5:5-11):邪悪な女=罪の総体、エパ枳=光を隠すもの(マタイ5:15など)→シヌアルの地へと持ち去られる(cf.黙示録17:3)
- ⑥偶像礼拝の本質:自己の目標、自己の方法、自己の達成の上にすべてを建て上げること→自己栄光化こそサタンの本質(イザヤ14:12-15)